

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 STEILAR C. K. M株式会社  
 コード番号 2673 URL <http://www.steilar.com/company/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 橋本 勝司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(経理・財務担当) (氏名) 加藤 和弘  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

TEL 03-5369-7831

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	3,720	—	△92	—	△110	—	△233	—
20年3月期第3四半期	5,223	△9.4	73	—	114	—	49	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△52.01	—
20年3月期第3四半期	11.01	10.95

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	2,809	437	437	15.3	95.77	
20年3月期	3,620	675	675	18.5	149.31	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 429百万円 20年3月期 669百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	6.50	6.50
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,907	△28.5	△15	—	△35	—	△131	—	△29.22

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、【定性的情報・連結財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、【定性的情報・連結財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 5,124,000株 20年3月期 5,124,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 641,300株 20年3月期 641,300株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 4,482,700株 20年3月期第3四半期 4,481,056株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により本資料数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日～平成20年12月31日）におけるわが国経済は、米国金融市場の混乱に端を発した世界的な金融不安や大幅な為替変動などにより、景気は急速な減速局面を迎えております。

当社が属する通信販売業界におきましては、生活必需品をはじめとする物価上昇の影響が消費者心理の悪化を導き、買い控えなど個人消費の減退がみられました。一方でインターネット通販や携帯通販企業の躍進など市場競争の激化が進み、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）は、活動をしてまいりました。

なお、事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①通販小売事業

## カタログ部門

編集制作面では、商品適正誌面の観点から顧客に分かりやすい商品掲載を心掛け、質の高いカタログ作りを進めました。その一方で、厳選した顧客リストにのみカタログを発行することで発行部数を抑え、制作費と売上の費用対効果が最も高くなるよう設定の見直しを行いました。

商品開発では、鍋の組織を強化し1商品あたりの利益目標をはっきりさせ、独自性強化や他社との差別化を目的とし、コレクター品、美術品など希少価値の高い商材の発掘を継続すると共に、オリジナルブランド「syue gold」を始め、当社独自のブランディングシリーズを前面に押し出しました。

さらに、各カタログの理念を見直し、独自の世界観を全面的に盛り込むよう進めました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）のカタログ部門の売上高は596百万円となりました。

## 事業部門（頒布部門）

化粧品事業においては、2008年6月に始めた新ブランドの強化を進め顧客のファン化を図りました。また、顧客に対するカウンセリング機能の強化に向けてコンタクトポイントを増やすべく、株式会社ホット・コミュニケーションに委託していた受注業務を、当社内での直接業務への移行を進めました。その結果、顧客とのコミュニケーション機会の増加が受注アップにつながり始めました。健康事業については、健康事業部独自のサイト「けんこう館」を立ち上げ新しい戦略での売上を確保することに努めました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）の事業部門の売上高は165百万円となりました。

## メディア部門

メディア部門におきましては、第1四半期連結会計期間より進めてきた販売促進費効率の改善を、引き続き徹底して行ってまいりました。利益を出しにくい広告やDM発行は一切行わず、卸事業およびプラットホーム支援提携先での通販事業の売上・利益に特化した活動を行いました。その結果、第2四半期連結会計期間と比較し、売上・利益と伸びをみせることとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）のメディア部門の売上高は144百万円となりました。

## 通信メディア部門

自社サイトである「夢隊WEB」は集客施策の中心であるキーワード・アフィリエイトに関して、顧客獲得コストの効率化を重視すると同時に売上を上げるための施策実施・検証を繰り返しました。また、購買動線強化をテーマとした売り場改善に着手し、サイトのリニューアルを実施し、同時に特集企画の更新頻度を高め、リピート・サイト閲覧時間の強化を図りました。今後は、施策・検証のサイクルを早め、集客と購入率のアップに取り組んでまいります。

外部ショッピングモールでは、各モールの顧客属性に合わせたWEB限定商材の投入・ページ作りこみの強化・広告出稿を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）の通信メディア部門の売上高は115百万円となりました。

## その他部門

ビジネスソリューション事業部では、広告販売とリサーチ・マーケティング事業を中心としたビジネスドメインの構築を進め、B to Bビジネスの事業化を推進し初年度黒字化に向け営業を強化しております。更に、団塊シニア向け特化型通販で培ってきたプラットホームを各企業に提供する支援サービスメニュー「夢ナビFrontier」を新たに販売スタートいたしました。

コールセンター業務を行っている株式会社ホット・コミュニケーションは、電話及びネット受注時においてインターネット事業や健康・化粧品事業と連動し、顧客のリピート継続注文を増やすために、販売促進活動を積極的に

行いました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）のその他部門の売上高は34百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）の通販小売事業の売上高は1,056百万円となり、営業利益は37百万円となりました。

### ②不動産事業

当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）においては、保有する不動産の賃貸を引き続き行っております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）の不動産事業の売上高は21百万円となり、営業利益は7百万円となりました。

### ③その他事業

株式会社S・Rプロモーションは、歌手・俳優などのタレントマネジメント業務を行っております。

グリストラップ浄化装置等のレンタル事業においては、新規の設備の取得は行わず、既存の物件のレンタルを継続しております。

ライフステージ株式会社は、介護施設を運営し、デイサービスを行っております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）のその他事業の売上高は95百万円となり、営業利益は13百万円となりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）の売上高は1,173百万円、営業損失は6百万円、経常損失は17百万円、四半期純損失は80百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）の経営成績につきましては、売上高は3,720百万円（前年同期比28.8%減）、営業損失は92百万円（前年同期は営業利益73百万円）、経常損失は110百万円（前年同期は経常利益114百万円）、四半期純損失は233百万円（前年同期は四半期純利益49百万円）となりました。

※平成21年3月期第1四半期及び平成21年3月期第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報につきましては、平成21年3月期第1四半期決算短信（平成20年8月13日発表）及び平成21年3月期第2四半期決算短信（平成20年11月13日発表）をそれぞれご参照ください。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,809百万円となり、前連結会計年度末比811百万円の減少となりました。その主な要因は、借入返済及び社債償還並びに四半期純損失などにより、現金及び預金が320百万円減少したこと並びに長期預金が247百万円減少したことにあります。

純資産は、437百万円となり、前連結会計年度末比238百万円の減少となりました。その主な要因は、四半期純損失233百万円及び剰余金の配当29百万円にあります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、平成20年11月13日に発表した業績予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用

イ. 簡便な会計処理

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
1. 棚卸資産の評価方法	<p>当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。</p> <p>また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。</p>

ロ. 四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	323,216	643,719
売掛金	522,695	591,459
商品	229,226	190,512
販売用不動産	196,881	307,273
貯蔵品	26,774	33,874
その他	230,034	164,149
貸倒引当金	△20,252	△39,601
流動資産合計	1,508,576	1,891,386
固定資産		
有形固定資産		
建物	662,986	644,782
減価償却累計額	△84,653	△69,358
減損損失累計額	△13,654	—
建物(純額)	564,679	575,424
車両運搬具	22,776	22,069
減価償却累計額	△19,078	△17,896
車両運搬具(純額)	3,697	4,172
工具、器具及び備品	52,635	52,249
減価償却累計額	△31,695	△30,936
減損損失累計額	△3,218	△6,334
工具、器具及び備品(純額)	17,720	14,978
機械及び装置	347,986	372,354
減価償却累計額	△145,170	△111,610
機械及び装置(純額)	202,816	260,743
土地	248,855	248,855
有形固定資産合計	1,037,769	1,104,175
無形固定資産		
のれん	18,458	20,368
温泉権	55,510	55,510
その他	23,717	20,000
無形固定資産合計	97,686	95,879
投資その他の資産		
投資有価証券	126,258	196,505
長期貸付金	112,539	113,983
長期預金	2,500	250,000
その他	137,797	142,775
貸倒引当金	△133,488	△116,838
投資損失引当金	△80,600	△57,000

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
投資その他の資産合計	165,007	529,426
固定資産合計	1,300,462	1,729,481
資産合計	2,809,039	3,620,868
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	563,227	717,668
1年内償還予定の社債	60,000	255,000
短期借入金	283,015	20,000
1年内返済予定の長期借入金	876,416	503,664
未払金	165,640	190,038
返品調整引当金	8,419	5,721
ポイント引当金	31,442	28,198
リース解約損失引当金	8,286	13,532
その他	114,917	105,966
流動負債合計	2,111,363	1,839,788
固定負債		
社債	30,000	187,500
長期借入金	204,937	891,125
その他	25,546	27,179
固定負債合計	260,483	1,105,804
負債合計	2,371,846	2,945,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	368,850	368,850
資本剰余金	362,086	362,086
利益剰余金	△77,390	184,905
自己株式	△221,232	△221,232
株主資本合計	432,313	694,608
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△213	△17,060
繰延ヘッジ損益	△2,795	△8,250
評価・換算差額等合計	△3,008	△25,310
少数株主持分	7,888	5,976
純資産合計	437,192	675,274
負債純資産合計	2,809,039	3,620,868

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	3,720,336
売上原価	1,997,627
売上総利益	1,722,709
販売費及び一般管理費	1,815,031
営業損失(△)	△92,321
営業外収益	
受取利息	1,358
受取配当金	873
業務受託手数料	12,130
その他	4,497
営業外収益合計	18,859
営業外費用	
支払利息	30,357
その他	7,067
営業外費用合計	37,425
経常損失(△)	△110,887
特別利益	
固定資産売却益	1,231
特別利益合計	1,231
特別損失	
固定資産除却損	17,359
減損損失	21,499
投資有価証券売却損	27,491
投資有価証券評価損	16,208
リース解約損失引当金繰入額	5,279
解約違約金	6,344
投資損失引当金繰入額	23,600
特別損失合計	117,782
税金等調整前四半期純損失(△)	△227,439
法人税、住民税及び事業税	3,807
法人税等合計	3,807
少数株主利益	1,911
四半期純損失(△)	△233,158

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(自平成20年10月1日  
至平成20年12月31日)

売上高	1,173,936
売上原価	607,330
売上総利益	566,605
販売費及び一般管理費	573,514
営業損失(△)	△6,908
営業外収益	
受取利息	75
受取配当金	120
業務受託手数料	3,995
その他	210
営業外収益合計	4,401
営業外費用	
支払利息	10,213
その他	5,080
営業外費用合計	15,294
経常損失(△)	△17,801
特別利益	
投資有価証券評価損戻入益	48
特別利益合計	48
特別損失	
固定資産除却損	7,809
減損損失	21,499
投資有価証券売却損	27,491
リース解約損失引当金繰入額	1,911
その他	109
特別損失合計	58,821
税金等調整前四半期純損失(△)	△76,574
法人税、住民税及び事業税	2,740
法人税等合計	2,740
少数株主利益	1,111
四半期純損失(△)	△80,426

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自平成20年4月1日  
 至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△227,439
減価償却費	66,016
のれん償却額	1,909
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,699
返品調整引当金の増減額(△は減少)	2,698
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,244
投資損失引当金の増減額(△は減少)	23,600
受取利息及び受取配当金	△2,232
支払利息	30,357
為替差損益(△は益)	1,395
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	27,491
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	16,208
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,231
有形固定資産除却損	17,359
減損損失	21,499
売上債権の増減額(△は増加)	68,764
たな卸資産の増減額(△は増加)	78,777
仕入債務の増減額(△は減少)	△161,556
未払金の増減額(△は減少)	△28,855
その他の流動資産の増減額(△は増加)	4,629
その他の流動負債の増減額(△は減少)	5,148
その他	7,430
小計	△47,483
利息及び配当金の受取額	2,326
利息の支払額	△27,845
法人税等の支払額	△1,827
法人税等の還付額	529
営業活動によるキャッシュ・フロー	△74,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△4,102
定期預金の払戻による収入	244,966
有形固定資産の取得による支出	△25,143
有形固定資産の売却による収入	567
無形固定資産の取得による支出	△12,739
投資有価証券の売却による収入	43,577
貸付けによる支出	△103,000
貸付金の回収による収入	34,444
預り保証金の返還による支出	△3,205
預り保証金の受入による収入	1,584

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
差入保証金の差入による支出	△550
差入保証金の回収による収入	10,240
投資活動によるキャッシュ・フロー	186,639
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	263,015
長期借入れによる収入	2,000
長期借入金の返済による支出	△315,436
社債の償還による支出	△352,500
担保差入定期預金の預入による支出	△46,500
配当金の支払額	△28,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△478,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,395
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△367,403
現金及び現金同等物の期首残高	642,619
現金及び現金同等物の四半期末残高	275,215

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	通販小売事業 (千円)	不動産事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	1,056,157	21,848	95,929	1,173,936	—	1,173,936
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,056,157	21,848	95,929	1,173,936	—	1,173,936
営業利益又は営業損失(△)	37,597	7,458	13,111	58,168	(65,076)	△6,908

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	通販小売事業 (千円)	不動産事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	3,239,478	179,380	301,477	3,720,336	—	3,720,336
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,239,478	179,380	301,477	3,720,336	—	3,720,336
営業利益又は営業損失(△)	103,579	16,723	11,183	131,487	(223,809)	△92,321

- (注) 1. 事業区分の方法は、商品又はサービスの種類並びに販売形態によっております。  
2. 各区分に属する主要な商品及び事業内容

事業区分	主要商品及び事業内容
通販小売事業	雑貨、洋品、文具、化粧品、貴金属、美術工芸品、電気器具、家庭用品、家具、美容健康器具、食品等
不動産事業	不動産の賃貸、不動産の売買業
その他事業	タレントの育成及びマネージメント業、通所介護サービス事業、人材派遣事業、グリストラップ浄化装置のレンタル業

3. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。なお、これによる損益へ与える影響はありません。

**【所在地別セグメント情報】**

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）  
本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

**【海外売上高】**

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）  
海外売上高がないため該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期にかかる財務諸表

(1) 四半期連結損益計算書 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	当四半期
	平成20年3月期 第3四半期
	金 額
I 売上高	5,223
II 売上原価	2,660
売上総利益	2,563
III 販売費及び一般管理費	2,489
営業利益	73
IV 営業外収益	89
V 営業外費用	48
経常利益	114
VI 特別利益	22
VII 特別損失	86
税金等調整前四半期純利益	50
法人税、住民税及び事業税	2
法人税等調整額	0
少数株主損失 (△)	△1
四半期純利益	49